

海の森を使うと以前にも増して、ニキビがひどくなったのですが、この先、海の森を使い続けてよいのかどうか、とても不安になり迷いました。今は使い続けてよかったと思っていますが、どうしてですか。教えてください。

弱酸性の海の森をつけて、以前よりニキビがひどくなった、寧ろ治まってい

かなければなりません。ではなぜ、このようなことが起きるのでしょうか。

大人ニキビの原因は角質機能の低下による毛穴の詰まりで、思春期の場合は性ホルモンバランスによる皮脂分泌過剰が主なる原因です。

化粧水・乳液・クリームなどを長期間塗布すると、角質層の剥離層（アカ）に化学物質や界面活性剤・防腐剤・油などの合成化学物質が混入し、簡単に洗流すことができなくなります。角質層の上に角質の残存物と油がこびり付いた汚れ（まさに『外コメド』）は肥厚し、毛穴を塞ぎ、また角質層のターンオーバーの障害になります。

さらに、角質層の上にこびり付いた油汚れは、アルカリ性になりやすく、たとえば正常な角質層であっても、アルカリ性物質（バクテリア・カビ・ホコリ・石鹼・洗剤）が付着しやすく、皮膚表面がアルカリ性になり、角質層・毛穴・汗口が開き、化学物質や界面活性剤や防腐剤が肌の奥まで侵入しますので、炎症やアレルギー反応が起きやすい敏感肌状態になります。

角質層の上に角質の残存物と油がこびり付いた汚れをとるために、洗浄力の強いクレンジングや洗顔フォームで、さらに強く肌をこすって洗うゴシゴシ洗顔（肌の摩擦）後、化粧水・乳液・クリームなどを塗布することを繰り返しますが、これでは、なかなか脂漏性湿疹やニキビ、吹き出物は改善されません。

海の森を使用することで、含有されたタンパク分解酵素や脂肪分解酵素が、正常な角質層の上に角質の残存物と油がこびり付いた汚れを、アカとして剥がしていきます。

しかし、細胞の角化が順調でなく、角質層が雑然と重なり合い、有核細胞が出現し、角質細胞間に隙間が生じた状態で、外部環境の影響を受けやすく、経皮水分喪失は増大し、皮脂腺が退化しアクネ菌も少なく皮脂分泌も少ない乾燥しやすい角質層になっています。

角質層が一枚一枚規則的に、自然に剥がれる状態にはなっていないため、角質残存物が毛穴をふさぎ、ニキビができる、またできやすい肌状態や炎症やアレルギー反応が起きやすい敏感肌状態をつくります。弱酸性の海の森をつけて以前よりニキビがひどくなった、あるいは乾性肌ニキビになったと言われる所以でもあります、全ての人に同じことが起きるということではありません。

水中油型の海の森を使用することで、タンパク分解酵素が、角質残存物が毛穴をふさぎ、ニキビができる、またできやすい肌状態を改善します。精油成分が、衰えた皮脂腺を活性化します。脂肪分解酵素が皮脂腺から排泄された油滴を過剰にならないように分解し、アクネ菌の増殖を抑制し炎症が起きないようにしています。植物油に含まれた不飽和脂肪酸は、皮膚表面の菌の繁殖を抑制しています。アミノ酸・ミネラル成分が含有していますので、結合水でしかも水分クラスターが小さく、角質層表面および角質層への水分補給がしっかりできます。ミネラル成分は、皮膚内部の有害物質を吸着し、アカと一緒に排出します。

海の森を使用し続ける過渡期には、一時的に粉が吹いた、カサカサした状態になることもあります、いわゆる古い角質層が表面から剥がれ落ちようとしている状態で、特に問題はありませんので、そのままご使用ください。正常な角質層のターンオーバーになるまでは、個人差はありますが半年から1年かかる場合もあります。

大人ニキビ・思春期のニキビ、いずれの場合も外的刺激からお肌を守るケア

を心がけてください。

基本的なケア①

水または弱酸性の水中油型海の森で、皮膚表面の清浄作用を高めます。ほとんどの化粧水は油中水型ですので、使用する場合は少量、またはできるだけ水で希釈してお使いください。

基本的なケア②

洗浄力の強いクレンジングや洗顔フォームで、さらに強く肌をこすって洗うゴシゴシ洗顔（肌の摩擦）は避けてください。

洗浄力の強いクレンジングや洗顔フォームを使用した場合、化粧水・乳液・クリームなどの塗布はできるだけ少量にしてください。